

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成18年度第7回定例会
開催日時	平成18年10月18日（水曜日） 18時30分から21時07分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長：森忠 副会長：濱崎昌子 委員：細井邦夫、柳澤英之、下栗庸隆、富澤佳代子、野間春二、伊波真貴子、武田雅子、石橋いづみ、紺野和子 職員：相原館長、近藤事業係長、伊佐分館長、山本分館長、玉木分館長、香坂分館長、小林分館長
欠席者	委員：浅倉隆壽、遠山久敬、奥田泰弘
議題	(1) 第6回定例会の記録について (2) 報告事項 1 行政報告 2 事業計画・報告書について 3 公民館だより編集室報告 4 文化振興施策懇談会報告 5 第44回東京都公民館研究大会について (3) 協議事項 1 諮問事項について (4) 事務連絡および情報交換 (5) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 1 第2回 母と子の広場「ぴよぴよこっこ」（田無） 2 こども世界料理教室「中国料理」餛飩ルーツ雲吞をつくる（田無） 3 とっさにできる女性のための護身法（住吉） (2) 事業報告書 1 ニュースの送り手から放送を語る（保谷） 2 わがまちの財政分析入門講座（住吉）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
(1) 第6回定例会の記録について （記録について確認） (2) 報告事項 1 行政報告 ○館長： 決算特別委員会が開催され、公民館に対しての質問は、保育事業の評価についてと駅前公民館のパブリックコメントをどのように生かすのか、という2件だった。	

駅前公民館のパブリックコメントだが、21人から50件の意見が寄せられた。公民館には18項目。11月1日号の市報と公民館だよりに公表する。

新聞情報だが、町田市公民館で個人情報の流出があったとのことだ。西東京にも同様の障がい者事業もあり、細心の注意をするように全館に指示をした。

利用者懇談会の様子は、各館から報告させたい。

○職員（保谷公）：

10月4日午後と10月13日夜間に開催した。4日が26人、13日は14人の参加を得た。両日ともに上期の利用状況やお願い事の説明の後、ロビーコンサートとやぎさわ探検隊について、写真を投影しながら説明した。今年の3月の利用者懇談会のときに、実行委員会形式の事業を企画することについて意見が一致したために、既に実行委員会形式で行っているコンサート活動と、今年初めて自治会と共同して企画した事業を元に、今後の方針を話をした。参加した市民には共感を得られたと思うので、1月を目途にして実行委員会を立ち上げることを約束して会を終わった。

今回は、意識的に参加者の発言の機会を提供したので、一方的な説明会にはならなかったと思っている。

○職員（田無公）：

10月6日午後と10月11日夜間に実施した。6日が5人、11日は4人の参加である。両日も天候が悪く、足が遠のいたようだが、人数が少ない分じっくりと話ができた。公民館から無断キャンセルについてとロビーの利用、駐車場に関するお願いをした。また、田無公民館独自の情報紙「コミコミ公民館」の発行について情報提供した。

利用者からは、来年度事業として介護、経済問題、夫婦でできる事業、親子のふれあい、中高生対象講座についての希望が出た。館の利用についての意見だが、当日貸しについての希望と自転車置き場の改善について意見が出た。

○職員（芝公）：

10月5日夜間に実施し、16人の参加があった。館からのお願いと使用報告書について提案したが、利用者の理解を得られるまでに至らなかった。参加者からは、食育、平和問題、文庫活動をしているサークルからの意見が出された。

○職員（谷戸公）：

10月7日午前に行い、13人の参加があった。館側からは、利用状況についての報告や警備員・清掃作業員からのお願いことなどを含めて連絡した。

利用者からは、トイレのにおいについてとピアノの利用についての苦情が寄せられた。ピアノを使う団体は、優先的に視聴覚室を押さえられないかというものである。このところの傾向として、他の利用団体の活動にも目を向けて、批判ばかりでなく、建設的な意見を述べる方がふえてきている。また、利用者懇談会に初めて参加した、という方も徐々にではあるが、現れている。

○職員（住吉公）：

10月3日夜間に開催し、5人参加された。来年度は移転の年でもあり、年度の後半は移転準備のために事業の数を精選する必要があることを説明した。市民からは事業の減少

について批判の声が強く出たために、館側としても方針を立て直す必要を感じたところである。

また、新しい福祉会館で活動のできるスペースを確保してほしいということや新しい公民館に対する意見が出された。

○職員（ひばり公）：

10月10日夜間と10月11日の午後に開催した。10日が13人、11日は20人の参加であった。市民からの意見だが、人気の高い講座については続けて欲しい、サークル活動を発表する場を作って欲しいという提案があった。施設面への意見は、毎度のことであるが、駐車場の確保を求めるもので、夜間利用者が特に強い意見を持っている。また、当日貸しに関する意見、団体連絡箱を毎年更新することに対しての批判、和室の畳の表替えについて、そのほかに備品を要求する意見などが出された。また、公民館も受益者負担を取り入れてはどうかという意見も出された。

○委員：

館によって、1回のところと2回実施のところがある。今後は、極力2回実施をベースに考えてみてはどうかということを提案する。

○委員：

芝久保で、館側の提案の使用報告書への反対についてであるが、公民館としては今後取り扱いをどうするつもりなのか。

○職員：

今回は、多くの反対意見が出たために取り下げることにしたが、再度提案したいと思っている。

○委員：

保谷公民館では行っているが、何のために使っているのか。

○職員：

2年前の利用者懇談会に提案して始めたことであるが、谷戸公民館の実績を基にしたものである。公民館の部屋の確保に対する不満が多く、それに対して具体的な数値を示して説明することで現状がどういうことになっているかを報告するために、利用者に協力をお願いしている。また、これまでのように申請時に入力したサークルの会員数を利用者数に使っていたのでは、将来公民館がリニューアルをしようとするときなどに、どの程度の部屋の規模が必要なのかわからないのでは良くないということを説明した。統計資料にも、より正確なデータが必要であるとも思っている。

最初は半年限定でという説明をしたが、今も行っているし、特に苦情もないので継続したい。

○委員：

確か住吉でも行っていたはずだが。

○職員：

住吉公では5ヶ月間調査したが、その後は中断している。

○委員：

住吉公民館の工事期間中の対応について確認したい。駐車場・駐輪場はなくなっているが、部屋を使うことについても制限があるのか。

○職員：

部屋はこれまでどおり使ってもらって結構だ。

○副会長：

利用者としては、荷物の多い団体は駐車場がなくなって大変不自由している。

○委員：

工事的なときも使えないのか。

○職員：

夜間のみだが、障がい児施設の駐車場を使ってもらっている。

○委員：

利用者懇談会で公民館保険についてが話題になった。私も始めて知る内容もあり、公民館で怪我をしても、保険が使えることを知らずに帰ってしまった人もいると思う。公民館だよりで、保険に入っていることなどは知らせるべきだ。

また、プロジェクターを備えている館が少ない現状で、利用者が保谷公民館まで取りに行くことへの疑問の声があがっていた。

○委員：

私も、谷戸公民館で活動するために保谷公にプロジェクターを借りに行ったことがある。精密機械でもあり、館側で搬送することを希望する。

○副会長：

他に質疑はないか。

2 事業計画・報告書について

○副会長：

事業計画書について意見を聞く。

○委員：

保谷公のニュースの送り手から放送を語る、の参加者の年齢構成はどうであったのか。

○職員：

高齢者から若者までかなり幅広かった。こちらが意図していた高校・大学生の参加は

4人ほどで、全体から見ると少なかった。

○委員：

パネリストも適当な人物だと思うし、多くの人に聞いて欲しい企画だと感じた。参加者の感想に「タイトルが固いのでは」というものがある。人集めの工夫が必要と感じる。しかし、今後もぜひ続けて欲しい。PRの工夫次第だと思うので、青年層を対象に人集めをして欲しい。

○委員：

若い世代を対象にする応募方法であれば、学校に対してのPRをして欲しい。

○委員：

今後の方向性の欄に、青年対象講座の再検討とあるが、このことは今回の事業のことということだけでなく、全般的な検討が必要ということか。

○職員：

過去にも、人数が集まらずに空振りをする事業などもあった。発言のと通りの趣旨である。

○委員：

エフエム西東京の番組を聞くことがある。たまたま聞いた番組で、言葉遣いに問題があり、聞くに堪えない番組があった。若者言葉を乱用し、これから語彙を増やす小さな子供にはとても聞かせられる内容ではなかった。メディアに対して意見を言える機会が必要だと思う。ぜひ続けて欲しい。

○委員：

田無公の子供料理教室の講師は、性別も職業も、いつ来日した人なのかということなども不明だ。料理の専門家なのだろうか。もう少し丁寧に記載して欲しい。

○職員：

中国料理店を経営しているということだけは報告を受けている。記載の件は了解した。

○副会長：

他に質疑はないか。

3 公民館だより編集室報告

○委員：

10月3日に編集会議を開催した。

公民館のコラムについては、執筆者の都合により休止することになった。

サークル訪問11月号1面の「やとっぱらの会」の写真について検討をした。

1月号の1面の柳沢マジッククラブの取材報告があり、小学生から高齢者の参加があったということである。

次に、現在使用している公民館だよりの紙のサイズやインクの色是件であるが、今後どのようなものが良いのか検討を始めることにした。

○副会長：
質疑はないか。

4 文化振興施策懇談会報告

○委員：
提言書がようやく完成したので、目を通して欲しい。その上で質問を受けたい。
全委員ともに意を尽くせないところもあるが、先日提言を市長に提出した。文書化できなかった部分については、直接口頭報告した。市長からは、この提言から何も採用されなかった、ということにならないようするとの言葉を頂戴した。

6頁の23についてだが、具体的な事業を立ち上げてはどうかという趣旨のことである。また、多くの意見の中で、市の組織が、文化を扱う部署が教育委員会の社会教育課と市長側の生活文化課に分かれていることの不自然を指摘していた。1本化を求める声も多く上がっている。

○副会長：
質問のある委員は、直接たずねて欲しい。

5 第44回東京都公民館研究大会について

○職員：
12月3日の申込みを受けるので、後ほど休憩時間に事務局に申込書を提出して欲しい。なお、当日は市のバスで小金井市に行く予定である。

○副会長：
暫時休憩する。

(19時23分休憩)
(19時28分再開)

(3) 協議事項

1 諮問事項について

○会長：
前回決めたとおり、今日から2班にわかれてグループ討議をして欲しい。おおよそ1時間の協議の後、再度全体会を再開する。

本日は、まず最初に座長と記録係を決めてからスタートして欲しい。

会議終了後に座長と正副会長が残って、次回の会議までに報告できるようまとめたり、グループ間の議論の調整をしてはどうかと思っている。その上で、次回の会議に臨みたいというのが、私の提案である。

(19時35分グループ討議開始)
(20時35分全体会議再開)

○会長：

双方議論を尽くされたと思うが、最終的には答申文にまとめるのだ、ということを念頭に議論をすることを勧めたい。そうでないとまとまらないと思う。

では、討議の様子を簡単に報告して欲しい。

○委員（Bグループ）：

座長と書記を固定して議論することにした。

フリートーキングで行い、職員の勤務時間等がすべてに影響するが、駅ビルに作る公民館であることの特性を生かせる事業の実施、人が集まりやすい場所での運営になることを意識する運営、交通アクセスのよさを生かして、知的障がい者に向けた学級活動ができないか、といった意見が上がった。

○委員（Aグループ）：

座長は固定だが、記録係はその都度待ち回ることにした。

8月16日の会議のまとめのプリントを全員で確認しながら議論を進めた。8月定例会で、既に全委員の思いは出尽くしているという前提で、これをどのように集約していくかということが、グループのまとめになるのではないかという結論である。

まずは、1項目目の管理と2番目の時間に関する事項を議論したが、3項目目の事業については、時間切れになってしまったので、次回までに全員がまとめてくるという宿題が出た。1の管理の項では、青少年に対する意見が多く述べられており、それらをうまくまとめる作業をした。また、駐車・駐輪場の問題も重要な課題だと思う。2項目目の時間についてだが、夜の事業を増やすためには、職員の勤務時間のことが前提になる。公民館は、市民と職員とのふれあいが大切な施設であるということでは一致した意見である。後段の駅前の特徴を生かす事業については、次回の宿題である。

○委員：

前回の会議で質問したが、住吉公民館で行った利用者アンケートの結果を情報提供して欲しいという点についてはどのようなになったか。

○館長：

アンケートの回答用紙にグループ名を記載する欄が無く、住吉から駅前に移動したいグループの数は把握できるが、どういう種類の団体が移りたいということは示すことができない。

○会長：

第1回目はこの程度とし、次回はより具体的にグループ討議をするために、各位資料は必ず持参して議論に臨んで欲しい。例えば、駅前公民館の基本計画や新しい公民館・図書館のあり方提言、8月定例会の結果等は、用意して欲しい。

(4) 事務連絡及び情報交換
(特になし)

(5) 次回の日程について

11月15日（水曜日）18時30分
於：田無公民館 第2学習室